

第1章 能登半島地震の概要

第1節／地震の概要・広域交通インフラの状況

1. 地震発生の概要

能登半島は日本海側最大の半島で丘陵性山地が広く分布、海岸には景勝地が多い。その能登半島には七尾市、輪島市、穴水町、能登町、志賀町、珠洲市、中能登町、羽咋市、宝達志水町などの市町が所在する。

平成19年3月25日9時42分頃、能登半島西岸付近(北緯37度13.2分、東経136度41.1分、輪島西南西30km付近)の深さ約11kmでマグニチュード(M)6.9の地震が発生した。この地震により石川県七尾市、輪島市、穴水町では最大震度6強を観測し、震源地に近い輪島市をはじめとする多くの市町が被害を受けた。

この地震の発震機構は西北西－東南東方向に圧力軸を持つ型で、地殻内の浅い地震である。地震活動は本震－余震型で推移し、3月26日10時までの最大の余震は25日18時11分頃及び26日7時16分頃に発生したM5.3の地震で、それぞれ余震域の北東端、南西端で発生した。

気象庁は、今回の地震を「平成19年(2007年)能登半島地震」と命名した。

地質学的な現地調査によると、輪島市門前町から志賀町にかけての能登半島北西岸で最大隆起量約40cm、最大沈降量約10cmの上下変位が確認された。

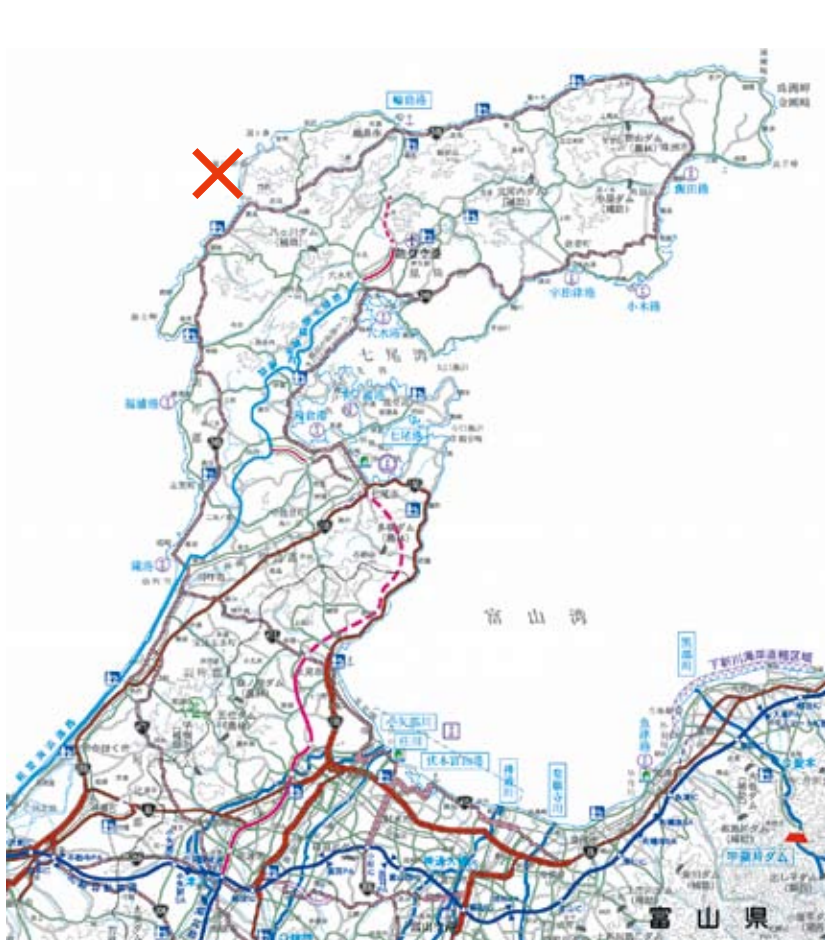


図1-1-1 能登半島地震震源地

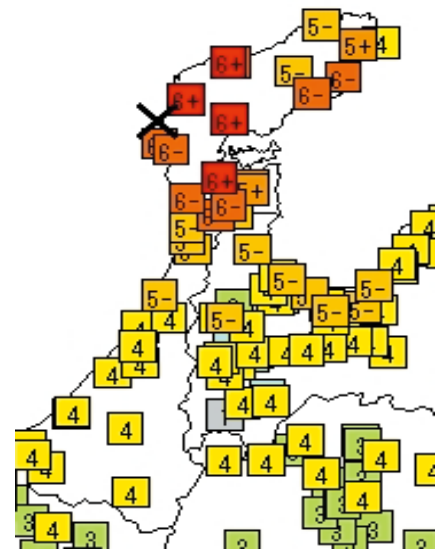


図1-1-2 本震の震度分布

表1-1-1 3月における地震発生時刻
(震度4以上)

月 日	震源時刻		マグニチュード	最大震度
	時	分		
3月25日	9	42	6.9	6強
	18	11	5.3	5弱
3月26日	7	16	5.3	4
	14	46	4.8	5弱
	18	02	4.4	4
3月28日	8	08	4.8	5弱
	13	05	4.7	4

本震直後から断続的に発生した余震は時間が経つごとに減少していくが、今回の地震活動の有感地震発生回数と過去の余震活動の比較をそれぞれ図1-1-3～4に示す。

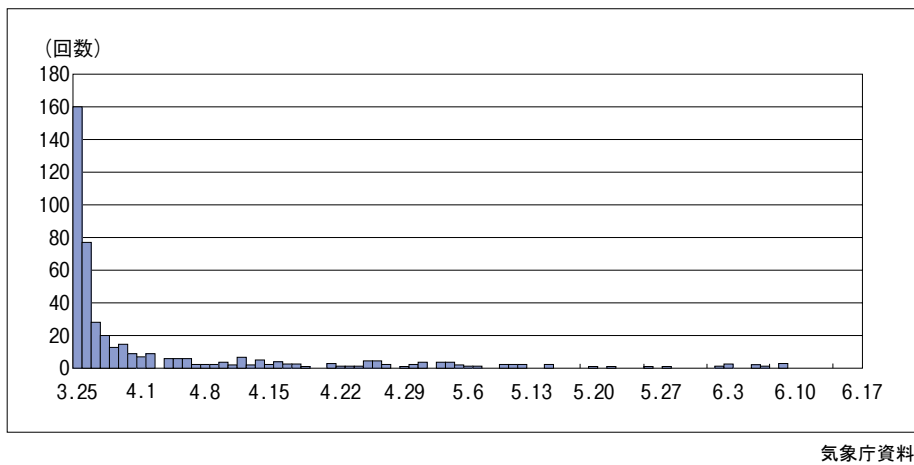


図1-1-3 地震発生回数(震度1以上)

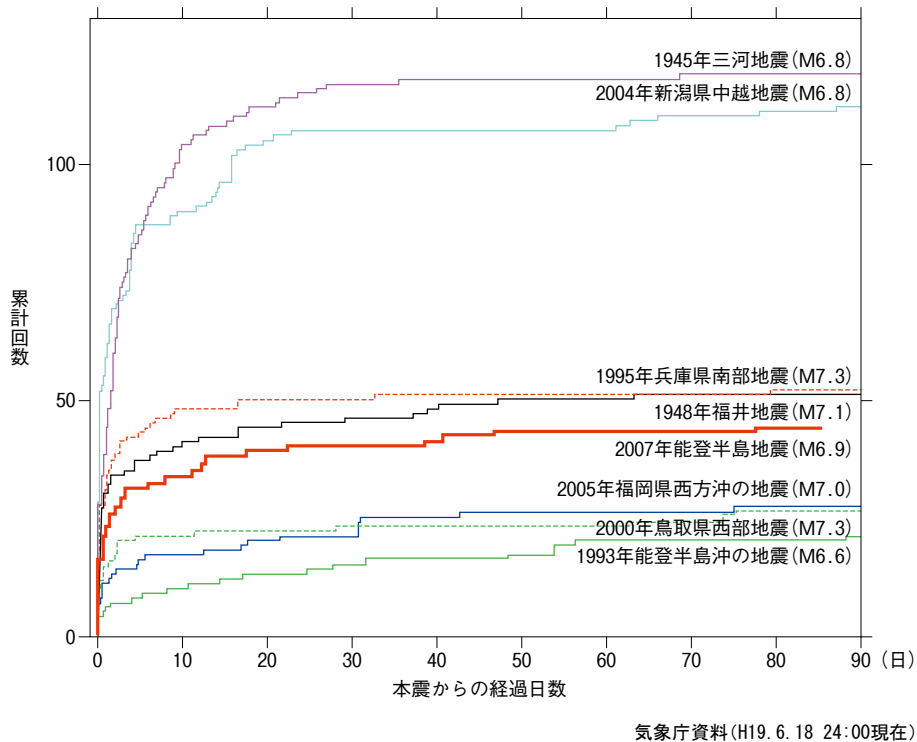


図1-1-4 過去の地震活動と能登半島地震の余震活動(M4.0以上)

2. 広域交通インフラの寸断と応急対応

地震発生直後、有料道路では能登有料道路穴水IC～柳田IC、能越自動車道田鶴浜IC～徳田大津JCTが通行止めとなった。直轄国道では国道470号能越自動車道能登空港IC～穴水ICが、県管理道路は国道249号や県道数箇所で通行止めとなった。

また、港湾では七尾港、輪島港などで岸壁背後のエプロンの沈下により岸壁使用に支障が生じたことや、能登空港では滑走路に22箇所の亀裂が見つかったことで閉鎖。25日から緊急補修工事を行い翌26日未明には復旧したが、滑走路の使用に一時支障が生じた。

第2節／一般被害

1. 一般被害発生状況と特徴

(1) 人的被害

能登半島地震による死者は1名、重軽傷者は356名にのぼる。その内、被害の大きかった輪島市では、死者1名、重軽傷者が115名であった。

表1-2-1 人的被害状況 (単位:人)

一般被害	人的被害		
	死者	重傷	軽傷
新潟県(2市)		1	3
十日町市		1	1
糸魚川市			2
富山県(6市)		1	12
富山市		1	
高岡市			6
魚津市			2
氷見市			1
小矢部市			1
射水市			2
石川県(4市5町)	1	88	250
輪島市	1	46	69
七尾市		24	103
珠洲市			3
羽咋市			1
津幡町			1
志賀町		10	27
中能登町		3	
穴水町		3	36
能登町		2	10
福井県(1市)		1	
福井市		1	
合計	1	91	265

消防庁資料(H19.12.28現在)

(2) 建物被害

住宅被害では、全壊684棟、半壊1,733棟、一部損壊が26,935棟にのぼる。

その内、被害の大きかった輪島市では、全壊513棟、半壊1,086棟、一部損壊9,988棟であった。

表1-2-2 住宅被害状況 (単位:棟)

一般被害	住宅被害		
	全 壊	半 壊	一部損壊
新潟県(1市)			3
糸魚川市			3
石川県(7市6町)	684	1,731	26,911
輪島市	513	1,086	9,988
七尾市	67	297	7,285
珠洲市			673
加賀市			6
羽咋市	3	13	142
かほく市	3	2	18
白山市			1
津幡市			2
志賀町	15	215	3,384
宝達志水町		3	26
中能登町	3	7	1,959
穴水町	79	100	2,318
能登町	1	10	1,130
合 計	684	1,733	26,935

消防庁資料(H19.12.28現在)



写真1-2-1 住宅被害状況(輪島市内)

2. ライフライン被災状況、避難生活

(1) ライフライン被災状況

地震発生の3月25日にライフラインの被災がピークにあった。

表1-2-3 ライフライン被災状況

ライフライン被災状況	ピーク時件数
停電	約11万世帯(3.26復旧)
断水	約13,250世帯(3.26復旧)
電話不通	約260回線(3.25復旧)

(2) 避難状況

避難者は、被害が大きい輪島市、志賀町、穴水町を中心に3月26日(ピーク時)には、2,624人にのぼった。

表1-2-4 避難所、避難者数(ピーク時)

市町名	避難所数(箇所)	避難者数(人)	備考
輪島市	26	2,214	3.26 8:30時点
七尾市	7	60	
志賀町	6	198	
中能登町	1	3	
穴水町	6	136	
能登町	1	13	
合計	47	2,624	

石川県資料(H19.12.11現在)

またこの地震による避難勧告は2地区で発令された。

表1-2-5 避難勧告状況

避難勧告状況	発令日時	解除日時	発令要因
輪島市門前町 3世帯(4人)	H19.3.26 14:10	H19.4.1 15:50	家屋倒壊の恐れ
輪島市大沢町 6世帯(9人)	H19.3.31 17:12	H19.4.5 9:00	落石の恐れ
合計 2地区 9世帯(13人)			

消防庁資料(H19.11.28現在)



写真1-2-2 避難所の様子(輪島市内)

(3) 応急仮設住宅への入居状況

応急仮設住宅は、2市2町に10箇所334戸設置されており、12月11日現在、288戸651人が入居している。

表1-2-6 応急仮設住宅入居状況

市町名 (2市2町)	箇所数	設置状況 (戸数)	入居戸数	入居者数 (人)
輪島市	4	宅田町(20)・山岸町(50)・ 門前町館(30)・門前町道下 (150) 計250戸	216	473
七尾市	3	小島町(10)・田鶴浜町(5)・ 中島町浜田(5) 計 20戸	18	53
穴水町	1	大町 45戸	40	81
志賀町	2	富来領家町(10)・鶴野屋(9) 計 19戸	14	44
合計	10	334戸	288	651

石川県資料(H19.12.11現在)



写真1-2-3 応急仮設住宅(輪島市門前町道下)